

おぐに

ふるさとづくり通信

編集・発行／長岡市小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会 2018. 3. 31.



▲ 小国芸術村特別展

平成29年度 小国地域ふるさと創生基金事業の成果報告

長岡市ふるさと創生基金事業とは・・・

合併協定に基づき、地域住民自らが考えて、各地域の振興や新市の一体感醸成に資する取り組みを実践するものです。財源は、合併特例債等を積み立てたふるさと創生基金 40 億円の運用利益を活用しています。

事業決定まで・・・

長岡市小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会にて企画・立案し、地域委員会の審査を経て決定します。

平成29年度の実施事業

山野田で創作活動をしよう!!事業	2頁
小国郷匠の食とわざ再発見事業	3頁
小国いきいきプロジェクト事業	4頁
小国の魅力再発見事業「オーイ発見!おぐにの旅 PART II」	5頁

I 山野田で創作活動しよう!!事業

1 事業の目的

平成29年4月に小国地域の小学校は統合し、小国小学校1校となります。共に学び始めて間もない頃に創作活動をみんなで行うことで一体感を醸成すること。また、山野田は平成16年の中越大地震で集団移転し住む人はいなくなりました。小国地域の宝である「小国和紙」発祥の地である山野田が忘れ去られないよう、子ども達から山野田を訪れ、学んでもらうことで、山野田を記憶に残しふるさとへの愛着と誇りを育み、次代への継承に繋げることを目的としました。

2 内容

小国芸術村でのオープニングイベントの特別展として長谷晏里 書展「やさしさを生むひらがな」を会期17日間(4/28~5/14)で開催しました。山野田に工房を構え創作活動を続けている坂本直昭氏が制作した紙に、千年の歴史を持つ「ひらがな」の世界を「柔らかく流れるよう」に表現した若き女性作家 長谷晏里氏の作品はすばらしく、来場者は魅了されました。また、初日から3日間は、長谷晏里氏の手ほどきを受け、来場者が作品制作を行い、その作品を会場いっぱい飾り「やさしさ」に包まれた展示会となりました。

当初、小国小学校児童を対象としたワークショップを開催する予定でしたが、インフルエンザの流

行により残念ながら中止となりました。

来場者数は194名でした。

3 事業の効果

第一線で活躍されている作家から直に手ほどきを受け、思い思いのひらがな書を作ることによって、来場者の心に残る体験となりました。

地域外の来場者もあり、小国地域の文化活動の



▲ ワークショップ風景

発信及び地域の良さを伝えることができました。

地域内の来場者は、山野田を肌で感じ郷土を知る良い機会となったと思います。

4 今後の課題

小国和紙発祥の地「山野田」。この原点を風化させないように芸術村の持つ役割や活用方法、芸術文化の振興について熟考の必要があります。



▲ 展示・観覧風景



▲ ワークショップ作品展示風景

II 小国郷匠の食とわざ再発見事業

1 事業の目的

小国地域に在住している匠（作家等）の作品を一堂に会して展示し、小国地域のわざの凄さを再発見すること。この展示と併せ、郷土料理の飲食ブースを設け、“小国のごっつお”として提供し、小国地域の食のPRをすること。また、小国地域で活動するバンドによる音楽の提供をし、小国地域で活動する音の匠についてもPRすること。そして、昭和63年から地域内の芸術文化振興・交流・地域振興の拠点として設置された「小国芸術村」。その主要施設である芸術村会館のある山野田地区で開催し、訪れた人の記憶に残すことを目的としました。

2 内容

竹細工・工芸品・つる細工・絨・ミニ古民家・わら細工・ひょうたん・人形・ガラスリッツェン・リース・折り紙アートなどの展示を行いました。おこわ・とん汁・银杏料理・ゼンマイ煮などのメニューで飲食ブースを設けました。

屋外の庭を利用して、小国地域で活動するバンドによる生演奏を行っていただきました。

3 事業の効果

小国地域の文化活動を、小国芸術村・山野田地区から発信し、地域の良さを伝えることができました。



▲ 展示会場の様子

した。

小国芸術村のPRとともに、小国の情報発信の一翼を担うことができたと思います。

4 今後の課題

これまで、「小国和紙」発祥の地であり、芸術文化振興・交流・地域振興の拠点として設置され、文化芸術活動の場として歴史がある小国芸術村・山野田地区を風化させないようにと山野田を愛する団体等による展示や企画をとおして芸術活動を展開してきました。

しかし、現在では芸術村の運営を委託している団体の高齢化による運営方法の見直しもあり、小国地域の芸術文化発信方法についてどうしたらよいか、今後、検討していかなければならない時がきているようです。



▲ バンドによる生演奏



▲ 飲食ブースの様子

Ⅲ 小国いきいきプロジェクト事業

1 事業の目的

小国健康いきいき支援事業の成果を引き継ぎ、小国地域の住民が地域において、いつまでも健康で自立した生活を送れるための仕組みづくりを構築するものです。

2 内容

上記目的を達成するために、住民・関係機関と協働で取り組みました。

(1) 多職種連携会議を年5回実施しました(8/22、9/26、11/21、1/15、1/26 開催)。

住民・関係機関が連携して、必要なテーマ・課題について共有し解決策を検討しました。



▲ 道しるべ



▲ 看取りに関する講演会（第一部）

- (2) 看取りに関する講演会を開催しました(3/11、おぐにコミセン)。第二部では小国在住の介護経験者4名による体験発表会を行いました。
- (3) 介護サービス情報誌を配布しました(平成29年10月上旬配布)。
- (4) 事例検討会を年3回開催しました(8/22、11/22、1/17 開催)。医療、介護従事者のスキルアップを目的に実施しました。

3 事業の効果

関係者等と幅広い意見交換を重ねていることで、関係者間との連携強化が一層図られ、住民と顔が見える関係ができました。協働による、いつまでも健康で自立した生活を営む地域づくりが少しずつ進んでいます。

介護情報誌「道しるべ」の配布と地域での説明会を実施する中で、介護保険申請時に「道しるべ」を持参してくるなど介護保険制度についての理解が深まっていると思われます。

4 今後の課題

介護情報誌「道しるべ」を配布して終わりではなく、効果的に使っていただけるよう活用方法についての説明会を検討していく必要があります。

また、介護保険の申請件数等の実態を調査し、検証のうえで、介護保険制度について周知と理解が更に進むよう活用の仕方を検討することです。



▲ 体験発表会（第二部）

IV 小国の魅力再発見事業「オーイ発見！おぐにの旅 PART II」

1 事業の目的

ボランティアガイドの活動体制を整え、小国地域の魅力と素晴らしさを内外にPRし集客や地域の活性化を図ること。また、越後カントリートレイル 2017 大会開催にあたり、チーム・おぐにの立ち上げと、応援アイテム「おぐにキャップ」の作成・活用により一層の応援意欲の喚起を促し、住民一体となった地域の活性化を図ることを目的としました。

2 内容

(1) トレイルランニングでのガイド活動

長岡駅に出迎え、小国までの送迎時に小国地域のガイドを行いました。交流会では、地域内のPR（郷土料理・その他イベント含む）を行いました。長岡駅構内で「かかし」でお出迎えをしました。

(2) おぐにキャップの作成

帽子を作成して、応援者へ配布しました（ボランティアスタッフ用200個、小中学生用200個）。応援参加への呼びかけを行いました。

(3) 小国の写真展ほかパンフレットの作成

小国巡り・イベント・物産・お土産など、小国に関する情報を掲載しました。

(4) ボランティアガイド研修

先進的な地域に出掛け、ボランティアガイドについて学びました。



▲ 長岡駅構内かかし展

3 事業の効果

先進地視察（山形県上市市）で、ガイドの技術向上と育成の機会を創出することで、スキルアップとレベルアップを図ることができました。

越後カントリートレイルのレース参加者が767人（前年比259増）とランナー及び地域住民からも大変好評を頂いています。また、今年から小国の小中学校を巻き込み地域貢献活動として取り組んでいただき、小国地域の一体感の醸成を図ることができました。



▲ トレイルランニング交流会

4 今後の課題

今後も継続的に魅力ある事業展開を発信し、小国へ訪れてもらい小国ファンを獲得し、持続可能な地域振興策に繋げていきたいと思えます。



▲ 小国巡り

● ● 平成30年度の実施事業が承認・決定!! ● ●

平成29年度第3回小国地域委員会（平成29年12月20日開催）で、小国地域ふるさと創生基金事業の平成30年度事業が承認されました。

小国地域がより元気になるような事業を展開していきます。

○小国のもてなし料理研究事業

おぐにカントリートレイル大会の前夜祭で、地元のもてなし料理を提供した交流会が好評です。今後も、ほかの場面でも小国地域の魅力のひとつである地元のもてなし料理の活用が見込まれます。他地域に視察に出かけたり、専門家から料理の基本を学び、技術の向上を目指します。

- ・料理研究会 5月・7月・11月
- ・視察研修会 9月

○道しるべ普及啓発事業

小国地域の住民が、小国地域においていつまでも健康で安心して暮らすことができるよう、介護保険制度・介護予防の更なる普及啓発に住民・関係機関と協働で取り組みます。

- ・介護に係る講演会 11月頃
- ・道しるべの増刷、ダイジェスト版の発行 10月発行予定
- ・冊子・ダイジェスト版を使った地域説明会
- ・事例検討会

○小国の魅力再発見事業「オーイ発見！おぐにの旅 PARTⅢ」

小国地域の魅力発信で集客を増やし、地域の活性化を図るにはボランティアガイド育成と活躍の機会の創出が急務です。中学生の地域貢献活動と連携して、幅広い活動を行い地域一体となり、地域活性化と集客に寄与することを目的とします。

- ・「小国写真コンテスト」写真募集 4月～9月末
- ・ボランティアガイドグッズの検討・発注 4月
- ・「小国巡り」ツアーの開催 8月
- ・「おぐにを写そう」写真展 11月3日

○もっと² 小国盛りあげ隊事業

アジアトレイルマスターズカップとして、小国地域でのレースの定着を図ることを目的とし、地域住民からの要望に応え法末から太郎丸地区などの上地区へコースを新設延長します。

- ・コース現地踏査 4月
- ・コース延長集落説明会 6月
- ・コース整備着手 8月
- ・先進地視察（柘形トレイル）、コースお披露目大会 10月



各事業の実施については、個別にお知らせを行います。多くの皆様の参加をお待ちしています!!

—長岡市では、合併後のふるさとづくりの一環として「ふるさと創生基金事業」を実施しています—

■■■ 編集・発行 ■■■

長岡市小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会（事務局：長岡市 小国支所 地域振興課）

〒949-5292 長岡市小国町法坂 793 番地 TEL：0258-95-5905 FAX：0258-95-2282 Eメール：ogn-chiiki@city.nagaoka.lg.jp